

令和5年第1回三重県議会定例会
予算決算常任委員会戦略企画雇用経済分科会説明資料

目 次

◎議案補充説明

(1) 議案第4号

「令和5年度三重県一般会計予算」(関係分) 1

(2) 議案第51号

「令和4年度三重県一般会計補正予算(第11号)」(関係分) 9

令和5年3月9日

戦略企画部

(1) 議案第4号「令和5年度三重県一般会計予算」(関係分)

令和5年度の組織改正に伴い、戦略企画部関係の予算は、政策企画部と総務部関係の予算として計上しています。

①令和5年度当初予算総括表(政策企画部関係)

(単位: 千円、%)

令和4年度 当初予算額 (A)	令和5年度 当初予算額 (B)	増減額 (B - A)	対前年度伸率 (B - A) / A
1,318,112	1,045,568	△272,544	△20.7

②令和5年度当初予算のポイント・主要事業

ア 予算編成にあたっての基本的な考え方

<政策企画部関係>

令和5年度は、「強じんな美し国ビジョンみえ」及び「みえ元気プラン」が本格的にスタートする年となります。「強じんな美し国ビジョンみえ」の基本理念の実現に向け、「みえ元気プラン」に掲げた各施策の取組を着実に推進し、その成果を県民の皆さんに届けることが求められます。

そのため、政策企画部では、施策の成果や課題に関する議論を通じて各部局に対し必要な支援や助言等を行い、施策の改善やより効果的な政策立案につなげることにより、「みえ元気プラン」の着実な推進を図ります。

また、人口減少対策については、市町と共同で調査や対策の検討を実施するとともに、人口減少が著しい南部地域に「人口減少対策広域コーディネーター(仮称)」を設置することで、地域の実情に応じた効果的な対策に取り組めます。

「ゼロエミッションみえ」プロジェクトについては、庁内の総合調整を行うとともに、再生可能エネルギーやカーボンクレジットを活用した地域経済活性化に資する方策について調査を行い、効果的な取組につなげていきます。

三重の認知度を高めるプロモーションについては、これまでの取組を検証したうえで、全庁挙げて戦略的な取組の展開を図ります。

イ 主な重点項目

<政策企画部関係>

(1) (一部新) 人口減少対策費

予算額 33,604 千円 [人口減少対策課 (224-3415)]

地域の実情に応じた人口減少対策に取り組むため、市町と共同で調査や対策の検討を実施するとともに、地域のさまざまな主体と連携して、人口減少が著しい南部地域における移住・定住促進や広域的な連携の推進等に取り組む「人口減少対策広域コーディネーター (仮称)」を設置します。また、引き続き人口減少にかかる調査・分析を進めるとともに、庁内の総合調整を行い、効果的な対策につなげます。

(2) (新) 「ゼロエミッションみえ」プロジェクト総合推進事業

予算額 16,186 千円 [企画課 (224-2025)]

<事業実施期間：令和5年度～令和8年度>

「ゼロエミッションみえ」プロジェクトの着実な推進に向け、庁内の総合調整を行うとともに、再生可能エネルギーの特性を生かした地域経済の活性化プロジェクトやJ-クレジット等の効果的な活用に係る調査を行います。

(3) 計画進行管理事業

予算額 3,214 千円 [企画課 (224-2025)]

「強じんな美し国ビジョンみえ」の基本理念の実現に向け、施策の成果や課題に関する議論を通じてPDCAサイクルを的確に運用し、各部局に対して必要な支援や助言等を行うことで「みえ元気プラン」の着実な推進を図ります。

(4) (新) プロモーション推進事業

予算額 4,996 千円 [企画課 (224-2025)]

<事業実施期間：令和5年度～>

プロモーションに係る各部局のこれまでの取組を検証するとともに、他自治体の事例を調査・分析し、全庁的な取組方針を策定します。また、部局横断的な推進本部を設置し、方針に基づいたプロモーションの戦略的な展開を図ります。

(5) 未来につなぐ平和発信事業

予算額 600 千円 [戦略企画総務課 (224-2009)]

被爆地広島との交流や被爆・戦争関連資料の展示などを通じて、若い世代をはじめとする多くの県民の皆さんに、戦争の悲惨さと平和の大切さを伝えていく機会を設けます。

(6) (新) 住宅・土地統計調査費

予算額 95,885 千円 [統計課 (224-2044)]

<事業実施期間：令和5年度>

住生活関連諸施策の基礎資料を得るために、県内の約 47,800 世帯を対象に、住宅とそこに居住する世帯の状況、世帯の保有する土地等の実態について調査を実施します。

<総務部関係 (現戦略企画部分) >

(1) 県政情報発信事業

予算額 107,909 千円 [広聴広報課 (224-2788)]

より多くの県民の皆さんに対して県政情報を届けるため、県広報紙(「県政だより みえ」)の新聞折込による配布や、スマホアプリを活用した電子版での提供のほか、テレビやSNSなどの多様な媒体を活用するなど、それぞれの特性を生かした情報発信を行います。

(2) 新聞等広告費

予算額 29,742 千円 [広聴広報課 (224-2788)]

県政情報を効果的に伝えるため、新聞の紙面を購入してタイムリーな情報提供を行います。

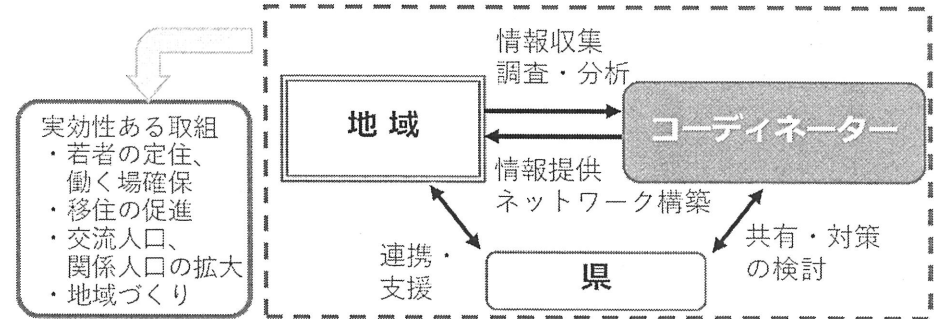
(重点・一部新) 人口減少対策費

令和5年度予算額 33,604千円
人口減少対策課 059-224-3415

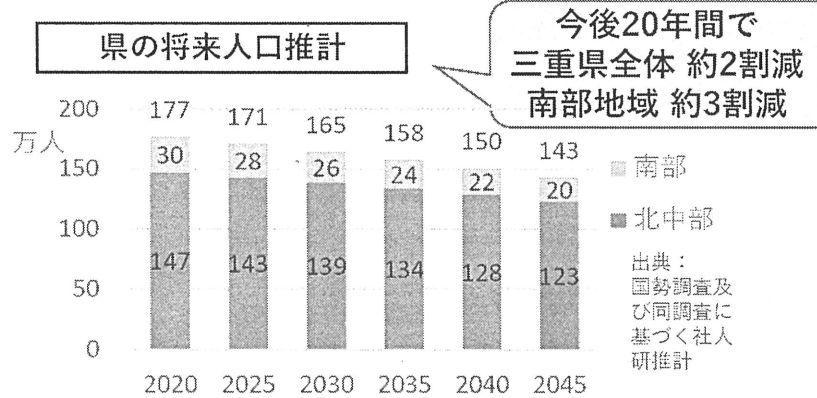
1 人口減少対策広域コーディネーター（仮称）の設置（新規） 19,918千円

- ✓ 人口減少対策は広域的・総合的に取り組んでいく必要
- ✓ 地域に近い場所で課題を抽出し、対策につなげる必要

- 市町や地域の関係者と連携し活動するコーディネーターを人口減少が著しい南部地域に配置
- コーディネーターを中心に現場のニーズの把握や課題をふまえた効果的な支援を推進



2 市町との共同事業（新規） 4,379千円



- ✓ 地域の実情に応じた対策に取り組む必要
- ✓ 長期間にわたり続く人口減少を前提とした地域のあり方の検討が必要

- 転入転出理由に関するアンケートの実施
- 県と市町で共同で取り組む事業の検討
- 20~30年先を見通し、市町とともに地域の長期的な変化の予測の整理やその結果をふまえた地域社会のあり方の検討を開始

3 調査・分析（継続） 8,952千円

- ✓ 実効性ある対策の実施に向け、継続した状況の把握やさらなる深掘りが必要

- データの収集と分析を引き続き実施
- 県内高等教育機関学生・県出身の県外大学生へアンケートを実施

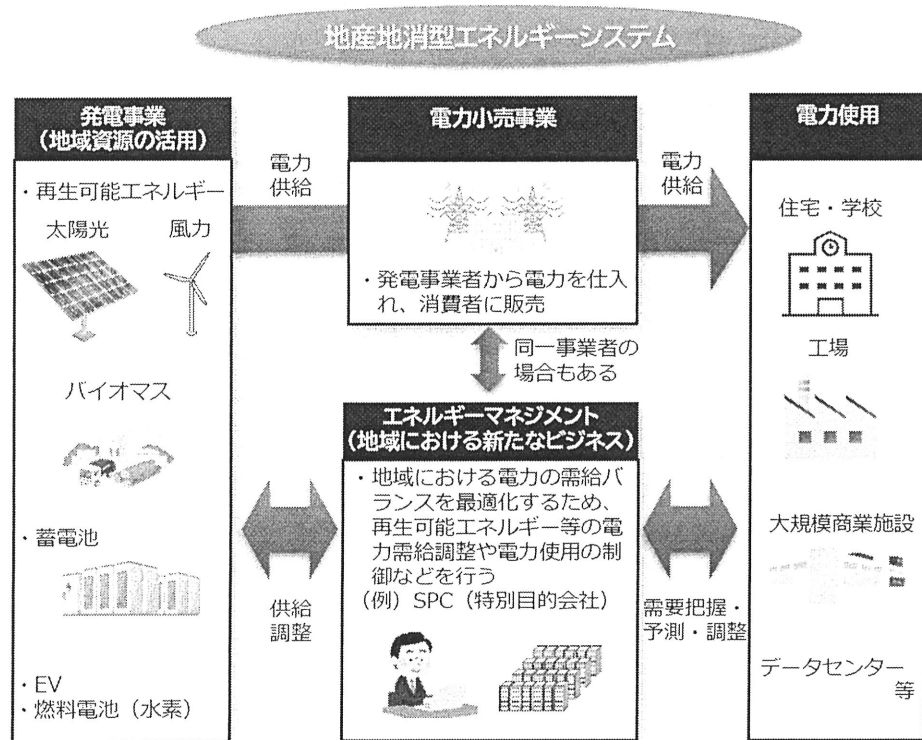
「ゼロエミッションみえ」プロジェクトの推進に向けた調査・検討

①再生可能エネルギーの特性を生かした地域経済の活性化プロジェクト 10,000千円

【地産地消型エネルギーシステム関連】

再生可能エネルギーを安全・安心な地域の電力として蓄電池等も活用しつつ安定的に供給し、その地域の住宅や事業所などで消費する「地産地消型のエネルギーシステム」の導入は、地域経済の活性化につながる事が期待されています。

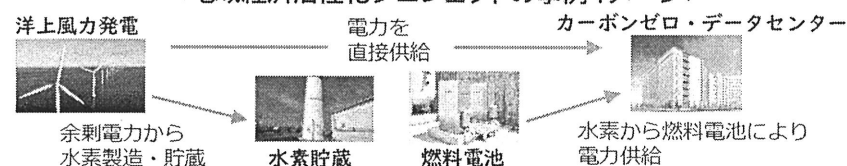
このため、市町や事業者等と連携しつつ、県内の地域における同システムの導入に向けて、発電に係る地域資源の賦存量や地域の電力需要を含めた現状と、エネルギーマネジメントに係る課題の把握を進めるとともに、具体的な取組方向の検討を行います。



【洋上風力発電関連】

- 洋上風力発電設備の設置に関しては、地域におけるメリット・デメリットを十分考慮したうえで検討する必要があります。
設置する場合のメリットについて、余剰電力を利用した水素製造施設の設置など、地域経済活性化に寄与するプロジェクトの検討も含め、関連産業や雇用の創出に係る地域経済への影響を調査します。
- 洋上風力発電設備の設置や維持管理の際に必要な基地港湾について県内港湾施設のポテンシャルを調査・検討します。

<地域経済活性化プロジェクトの事例イメージ>



②J-クレジット等の効果的な活用方策 5,000千円

【J-クレジット等の効果的な活用方策について、農林水産それぞれの分野における調査・検討】

(i) 森林由来のJ-クレジット

森林由来のJ-クレジットについて、県内での認証を促進するとともに、企業等により多く購入してもらえるよう、効果的な仕組みや情報発信について検討します。

(ii) 農地におけるJ-クレジット

農地における新たなCO2吸収方法の研究開発事例の調査を行うとともに、県内の農地での活用の可能性について検討します。

(iii) 藻場等におけるカーボン (ブルーカーボン) のクレジット

ジャパンプルーエコノミー技術研究組合が社会実装を進める「Jブルークレジット」の取組について調査するとともに、本格的な普及を見据え県内での活用の可能性について検討します。

ウ その他の主要事業

<政策企画部関係>

政策名、施策名及び事業の内容	担当課・ 電話番号
<p>《政策名：人材の育成・確保》</p> <p>〈施策名：（8-1）若者の就労支援・県内定着促進〉</p> <p>1 地域と若者の未来を拓く学生奨学金返還支援事業 16,518 千円 【(8-1-3) 高等教育機関との連携等による若者の 県内定着の促進】 (第2款 総務費 第2項 企画費 3 企画費) 若者の県内定着を促進するため、「過疎地域などの指定地域への居 住」や「県内での居住および県内産業への就業」などの条件を満た した場合、奨学金返還額の一部を助成します。</p>	<p>戦略企画総務課 (224-2009)</p>
<p>《行政運営》</p> <p>〈行政運営名：(1) 総合計画の推進〉</p> <p>1 計画推進諸費 7,128 千円 【(20-1-1) 総合計画の進行管理】 (第2款 総務費 第2項 企画費 3 企画費) 県民の皆さんの意識を把握し、県政の運営に活用するため、広く 県民を対象としたアンケート調査を行います。</p> <p>2 広域連携推進費 13,021 千円 【(20-1-3) 広域連携の推進】 (第2款 総務費 第2項 企画費 1 企画調整費) 全国知事会や圏域の知事会等に参画し、国への提言活動を実施す るとともに地域課題や県境を越えて取り組むべき広域的課題の解決 に向け、他の自治体等と連携した取組を実施します。</p>	<p>企画課 (224-2025)</p> <p>政策提言・広域 連携課 (224-2089)</p>

＜総務部関係（現戦略企画部分）＞

政策名、施策名及び事業の内容	担当課・電話番号
<p>〈行政運営名：(5) 広聴広報の充実〉</p> <p>1 広聴体制充実事業 16,423 千円 【(20-5-1) 政策形成につながる広聴の推進】 (第2款 総務費 第1項 総務管理費 13 広聴広報費) 県民の皆さんの声を県政運営に生かせるよう、「県民の声相談」を実施するとともに、「みえ出前トーク」を活用した広聴活動を行います。また、県庁を訪れる方への庁舎案内や県庁代表電話の案内業務を適切に行います。</p> <p>2 電波広報事業 60,332 千円 【(20-5-2) 多様な媒体による広報の推進】 (第2款 総務費 第1項 総務管理費 13 広聴広報費) 県政情報や県の魅力等を県民の皆さん等に届けるため、テレビ・ラジオ番組で発信します。</p> <p>3 インターネット情報提供推進事業 47,710 千円 【(20-5-2) 多様な媒体による広報の推進】 (第2款 総務費 第1項 総務管理費 13 広聴広報費) 県民の皆さんが県政情報を常時円滑に入手できるよう、Webシステムの安定した運用を行います。</p> <p>4 情報公開・個人情報保護制度運営費 9,283 千円 【(20-5-3) 行政情報の積極的な公開と個人情報保護制度の適正な運用】 (第2款 総務費 第1項 総務管理費 12 情報公開費) 職員研修や相談対応を通じて情報公開・個人情報保護制度に対するより一層の理解と意識向上を図るとともに、情報公開・個人情報保護審査会や総合窓口を適切に運営し、制度の適正な運用に努めます。</p>	<p>広聴広報課 (224-2647)</p> <p>広聴広報課 (224-2788)</p> <p>広聴広報課 (224-2788)</p> <p>情報公開課 (224-2071)</p>

③令和5年度当初予算 債務負担行為一覧表（戦略企画部関係）

債務負担行為一覧表（政策企画部関係） （単位：千円）

事項	期間	限度額
地域と若者の未来を拓く学生奨学金返還支援事業に係る助成金	令和5年度～ 債務完了の年度	40,000

債務負担行為一覧表（総務部関係（現戦略企画部分）） （単位：千円）

事項	期間	限度額
広報紙版下制作等業務委託に係る契約	令和6年度	10,119
広報紙印刷業務委託に係る契約	令和6年度	28,494

(2) 議案第51号

「令和4年度三重県一般会計補正予算（第11号）」（関係分）

①令和4年度三重県一般会計補正予算（第11号）総括表

（単位：千円）

区分	補正前の額	補正額	補正後の予算額
第2款 総務費	1,370,869	△46,338	1,324,531

②令和4年度三重県一般会計補正予算（第11号）主要項目一覧

（単位：千円）

項目	細事業目	補正前の額	補正額	補正後の 予算額	説明
企画費	企画費				
	計画進管理事業費	24,466	△14,521	9,945	ゼロエミッション推進事業費及び次期計画にかかる冊子印刷事業費の所要見込額の精査などによる減額
	高等教育機関連携推進事業費	21,484	△7,104	14,380	県立大学関係調査委託費の所要見込額の精査などによる減額

